

2016年 経済学部 第2問

- 2 以下の条件で定められる数列 $\{a_n\}$ がある。

$$a_1 = \frac{1}{10}, \quad a_{n+1} = \frac{1}{100}a_n + \frac{1}{10} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

- (1) $\{a_n\}$ の階差数列 $\{b_n\}$ を $b_n = a_{n+1} - a_n$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) で定める。 $\{b_n\}$ は等比数列で、初項を $\frac{1}{10^p}$ 、公比を $\frac{1}{10^q}$ とおくと、 $p = \boxed{13}$, $q = \boxed{14}$ となる。ゆえに、 $\{b_n\}$ の第 n 項を

$$b_n = \frac{1}{10^{rn+s}} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

とおくと、 $r = \boxed{15}$, $s = \boxed{16}$ となる。さらに、 $\{a_n\}$ の第 n 項は、

$$a_n = a_1 + \sum_{k=\boxed{17}}^{n+\boxed{18}+\boxed{19}} b_k = \frac{\frac{1}{10^t} \left(1 - \frac{1}{10^{un}}\right)}{1 - \frac{1}{10^v}} \quad (n = 2, 3, 4, \dots)$$

と求められる。ここで、 $t = \boxed{20}$, $u = \boxed{21}$, $v = \boxed{22}$ である。

- (2) $S_n = \sum_{k=1}^n \frac{1}{10^{2k} a_k a_{k+1}}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) とおく。関係式

$$\frac{b_k}{a_k a_{k+1}} = \frac{\boxed{23}+\boxed{24}}{a_k} + \frac{\boxed{25}+\boxed{26}}{a_{k+1}} \quad (k = 1, 2, 3, \dots)$$

を用いて計算すると、

$$S_n = \frac{10^w \left(1 - \frac{1}{10^{xn}}\right)}{1 - \frac{1}{10^{yn+z}}}$$

となる。ここで、 $w = \boxed{27}$, $x = \boxed{28}$, $y = \boxed{29}$, $z = \boxed{30}$ である。

- (3) $(100^{n+1} - 1)S_n$ は $\boxed{31}n + \boxed{32} \boxed{33}$ 桁の整数になる。